平成 26 年度　京の川の恵みを活かす会　活動実績報告

■多様な魚種のための道づくり

龍門堰に仮設魚道を設置

日　時：平成 26 年 5 月 16 日（金）　10:00～12:30

場　所：龍門堰・左岸（京都市伏見区下鳥羽南町前町）

参加者：31 名

内　容：京都市洛南土地改良区の坂元純雄氏、竹門康弘代表の挨拶の後、10 時から図面をもとに作業を開始した。龍門堰では平成 23 年度から毎年、仮設魚道を設置していて、今年度で 4 回目の設置となる。これまで、堰上げによるプール（淵）を作っていたが、水が渦巻き、プールへ入り込んだ魚がうまく飛び跳ねることができないことが判明したため、改善策として、今年度はプールの部分に丸太をうろこ状に配置した木の板をはめ込んで斜路（瀬）を作るタイプに変更した。

今井堰に仮設魚道を設置

日　時：平成 26 年 5 月 23 日（金）　10:00～12:30

場　所：今井堰・左岸（京都市伏見区竹田青池町）

参加者：21 名

内　容：10 時に集合し、図面をもとに作業を開始した。今井堰では昨年度、下流部の土砂による水の堰上げ量が減ったことが原因で、落差直下の水位が下がったため、急きょ、土のう積み上げによる簡易な魚道を設置した。今年度は下流部の土砂堆積状況による水深の変化を考慮し、平水時においても魚（アユ等）がスムーズに遡上できるよう、スギの角材を使った「木組み階段式箱型魚道」を設置した。

丸太町落差工に仮設魚道を設置

日　時：平成 26 年 5 月 30 日（金）　9:00～13:30

場　所：丸太町落差工・左岸（京都市左京区下堤町）

参加者：14 名

内　容：9 時に集合し、図面をもとに作業を開始した。丸太町落差工については、昨年度と同じスギの角材を使った「木組み階段式箱型魚道」を設置した。

荒神口落差工に仮設魚道を設置

日　時：平成 26 年 6 月 4 日（水）　9:00～13:30

場　所：荒神口落差工・右岸（京都市上京区上之町）

参加者：21 名

内　容：9 時に集合し、図面をもとに作業を開始した。荒神口落差工は今年度が初めての仮設魚道設置で、丸太町落差工に設置した木組み箱型魚道に斜路を付けた「木組み斜路式箱型魚道」を設置した。斜路に付ける丸太の配置については、先行して設置した龍門堰の斜路の結果を踏まえ再検討した結果、「直線斜路（3 タイプ）＆はしご状配置斜め切り北山磨き丸太付き斜路」を作製し、箱型魚道に設置した。

写真撮影：冨士泰期

三条落差工に仮設魚道を設置

日　時：平成 26 年 6 月 7 日（土）　10:00～13:00

場　所：三条落差工・左岸（京都市東山区大橋町）

参加者：17 名

内　容：10 時に集合し、図面をもとに作業を開始した。三条落差工ではポリエステル製のネットの中に土のうを詰めたものを 2 つ作り、三角形の金属（通称：三条リング）を利用してロープを分岐させ、護岸に垂らした。これによりネットと落差工の間に深み（淵）が形成され、深みに到達した魚（アユ等）は岸際の斜めの流れを遡上して落差工を乗り越えるという考えである。

　なお、同日に設置を予定していた四条落差工については、魚道を設置しなくても遡上可能な箇所があることなどから、今年度は魚道を設置しないこととなった。

三条落差工仮設魚道の補修

日　時：平成 26 年 6 月 15 日（土）　14:00～15:40

場　所：三条落差工・左岸（京都市東山区大橋町）

参加者：7 名

内　容：6 月 7 日設置後の大雨により、設置した 2 つの土のうセット（ポリエステル製のネットの中に土のうを詰めたもの）のうち 1 つが、位置がずれ、深み（淵）がうまく形成されなくなってしまったため、土のうの詰め直しとロープの再固定を行った。

三条落差工仮設魚道の補修

日　時：平成 26 年 6 月 17 日（火）　15:00～15:30

場　所：三条落差工・左岸（京都市東山区大橋町）

参加者：3 名

内　容：6 月 15 日に補修作業を行ったが、次の大雨でもロープが緩まないよう、番線を使ってロープを強固に縛る作業を京都市職員の方に行っていただいた。

写真撮影：長木勇人

魚類遡上調査を実施

日　時：平成 26 年 5 月 20 日（火）～7 月 26 日（土）

場　所および参加者：

龍門堰（京都市伏見区下鳥羽南町前町）	調査協力者数：のべ 72 名
今井堰（京都市伏見区竹田青池町）	調査協力者数：のべ 58 名
四条落差工（京都市下京区斎藤町）	調査協力者数：のべ　2 名
三条落差工（京都市東山区大橋町）	調査協力者数：のべ　3 名
丸太町落差工（京都市左京区下堤町）	調査協力者数：のべ 15 名
荒神口落差工（京都市上京区上之町）	調査協力者数：のべ 15 名
桂川 3 号井堰（京都市右京区・西京区）	調査協力者数：のべ 39 名
	合計：のべ 204 名

内　容：鴨川及び桂川の天然アユ等の遡上状況を把握するため、仮設魚道を遡上通過する魚類数の調査を行った。大阪湾から鴨川に遡上してくるアユの総数を表すのに重要な龍門堰の魚道においては、活かす会会員の京淀川漁業協同組合の皆さま、サポーターを中心にほぼ毎日調査員が配置された（作業時間：4 時間を 1 回（1 名）と換算）。なお、四条落差工については仮設魚道を設置しなかったため右岸岸際を中心に、桂川 3 号井堰では既存の魚道で調査を行った。

結果は、龍門堰で 452 尾、今井堰で 228 尾、四条落差工で 28 尾、荒神口落差工で 1 尾、丸太町落差工および三条落差工では 0 尾、総計 709 尾（うちアユは 337 尾）と、鴨川での魚類遡上数が過去 4 年間で最少の記録であった。また、桂川の 3 号井堰も総数で 29 尾（そのうちアユは 15 尾）という結果で、既存の魚道が機能していないことがわかった。

荒神口落差工

荒神口落差工

今井堰

龍門堰

三条落差工仮設魚道を撤去

日　時：平成 26 年 8 月 22 日（金）　14:00～15:00

場　所：三条落差工・左岸（京都市東山区大橋町）

参加者：２名

内　容:６月７日に設置した仮設魚道の撤去作業を京都市職員の方に行っていただいた。

写真撮影：長木勇人

龍門堰・今井堰仮設魚道を撤去

日　時：平成 26 年９月４日（木）　9:30～12:00

場　所：龍門堰・左岸および今井堰・左岸

参加者：22 名

内　容：当初８月 26 日（火）に撤去を予定していたが、集合後に河川の水量が多いため撤去作業を行うことは危険と判断し作業を中止。予定より遅れたが９月４日に撤去を完了することができた。

8 月 26 日の川の様子（龍門堰）

龍門堰

今井堰

荒神口落差工・丸太町落差工仮設魚道を撤去

日　時：平成 26 年９月９日（火）　9:20～12:20

場　所：荒神口落差工・右岸および丸太町落差工・左岸

参加者：12 名

内　容：５月 30 日および６月４日に設置した仮設魚道の撤去を行った。

荒神口落差工

丸太町落差工